

# ユネスコプロジェクトから学んだこと ～ デジタル(D-pro)で広がるボランティア活動～

大阪教育大学附属天王寺中学校

57期生代表 1年 白石乃里子・土田千尋

# 1 ユネスコ「世界寺子屋運動」がやってきた

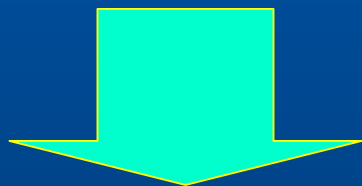
- はじまりは総合的な学習の時間
- まずは、世界各国の教育について調べ学習
- 図書館やインターネットで調べて発表会の開催



- 国によって、様々な教育制度があることを知りました
- 自分たちは本当に恵まれていることが分かりました
- 特に途上国では、ほとんどの子供が学校へもいけず、小さいころから働いていることが分かりました

## 2 ユネスコ「世界寺子屋運動」の学習

- ユネスコのホームページでの学習
- ゲストティーチャーのユネスコ協会・山本先生の講演
- 社会の時間でも補足の学習



- 学校に通えない子供 1億1300万人
- 文字の読み書きができない大人 8億6000万人
- 1989年日本ユネスコ協会からプロジェクトがスタート
- 現地では、寺子屋は子供と大人が学ぶ、地域のセンター
- 書き損じハガキや募金の活動で協力できる



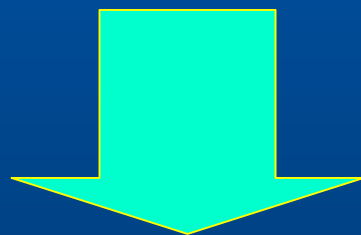
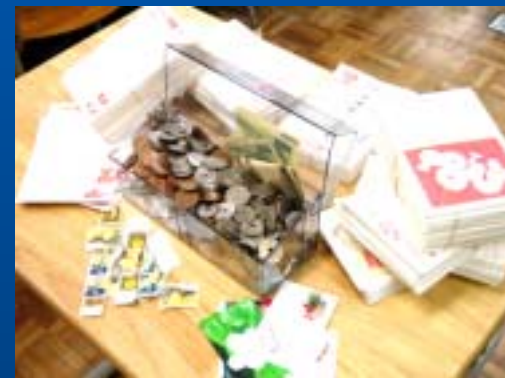
# 3 「世界寺子屋運動」のリーフレット製作

- リーフレット製作は、技術の「情報」の時間
- フォトショップのレイヤー構造に慣れるのが苦労しました
- 慣れると写真や文字を自由に扱え、楽しくなりました
- 美しい仕上がりに、自分なりに満足しました
- 友達の作品を見て、刺激に！



## 4 リーフレットを使ったボランティア活動

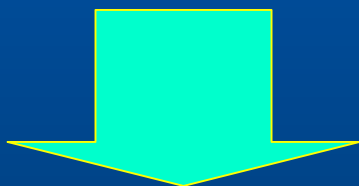
- 他の人にリーフレットを配布しユネスコの理解を求める
- 協力者を増やし、書き損じハガキや募金を集める
- 最初は、「エーッ!」「無理ーッ!!」とっていました



- 活動して見ると、協力してくれる人が以外に多い
- 回覧板で町内にリーフレットを見てもらったクラスメイトも
- なんとわずか10日間ほどの間に、募金21986円、書き損じハガキ961枚など総額7万円以上が集まりました
- 「私たちが動けば、社会も動く」という可能性を感じました

## 5 ユネスコプロジェクトで学んだこと

- インターネットを通じた友だちネットの広がり的重要性
- ボランティア活動の実践の大切さ
- 「**私たちが動けば世の中が動く**」という大きな可能性



- 来年も活動を継続します!!
- 大阪地区はおまかせ下さい!!
- **小中高の3校の連携に期待して下さい!!**

## 6 来年度も続けます



**ありがとうございました**

D-project 2003春の公開研究会